

日本銀行佐賀事務所は、 こんなことをやっています

久 芳 真一郎
(日本銀行佐賀事務所 事務所長)



2021年6月に当事務所に赴任して1年と少しが過ぎました。この1年間、当事務所では様々な面で感染症の影響を受けることとなりましたが、お陰様で業務を円滑に進めていくことができました。これも佐賀経済同友会の皆様方、県民の皆様方のご支援の賜物です。改めて御礼申し上げます。本日は、この場をお借りして、改めて当事務所の業務内容を紹介したいと思います。

当事務所は、1946年2月に当時の佐賀中央銀行佐賀支店（元佐賀銀行呉服町支店）内に開設され、その後、幾度かの移転を経て、現在は佐賀銀行本店内で営業しています。

主な業務内容は以下の3つです。

1. 日本銀行券（お札）の安定的な供給

当事務所では、県内の金融機関の協力を得て、県民の皆様方がいつでも安心して利用できるように、日本銀行券（お札）を安定的に供給しています。具体的には、県内の金融機関を通じて、古くなったお札を回収する一方、きれいなお札を県内に広く供給しています。

2021年度を通してみると、当事務所が県内の金融機関から回収した金額（受入高）は279億円、供給した金額（支払高）は3,913億円となっています。

因みに、お札の印刷は国立印刷局で行われていますが、お札を発行する権限は日本銀行に与えられています。日本銀行では国立印刷局からお札を受け取って、世の中に払い出しています。

2024年度上期には新しいお札の発行が開始される予定です。既に昨年9月には新一万円札の印刷が開始されており、現在、日本銀行では発行に

向けての準備を進めています。

2. 金融経済や日本銀行の活動に関する情報発信

当事務所では、県内の行政機関、経済団体、金融機関、企業の皆様方との意見交換などを通して、地域の金融や経済についての情報収集を行っています。こうした活動や、公表統計の内容などを踏まえて、県内の金融経済情勢をまとめた「佐賀県の金融経済概況」を四半期ごとに公表しています。

また、国内や県内の金融経済情勢や日本銀行の活動についての情報提供も行っています。具体的には、報道機関などを通じた情報発信のほか、県民の皆様方からのご依頼を受けて県内各地で講演を行っています。

3. 金融リテラシー向上に向けた活動

当事務所では、県民の皆様方に金融の仕組みやお札の役割などについての知識を深めて頂くため、様々なイベントに参加しています。

また、金融経済に関する情報提供や金融・金銭教育活動の支援などを行っている「佐賀県金融広報委員会」（事務局：佐賀県）と協力しながら、県民の皆様方の金融リテラシー（金融や経済に関する知識・判断力）向上に向けて取り組んでいます。

具体的には、同委員会のホームページの運営・管理を行っているほか、同委員会にご協力頂いている各種団体などに対して金融経済についての資料の送付を行っています。

当事務所では、これからも長年に亘り築いてきた県民の皆様方との信頼関係を大切にし、皆様方のお役に立てればと考えています。私どもの活動に対して引き続きご理解・ご支援を頂けると幸いです。宜しく願い申し上げます。